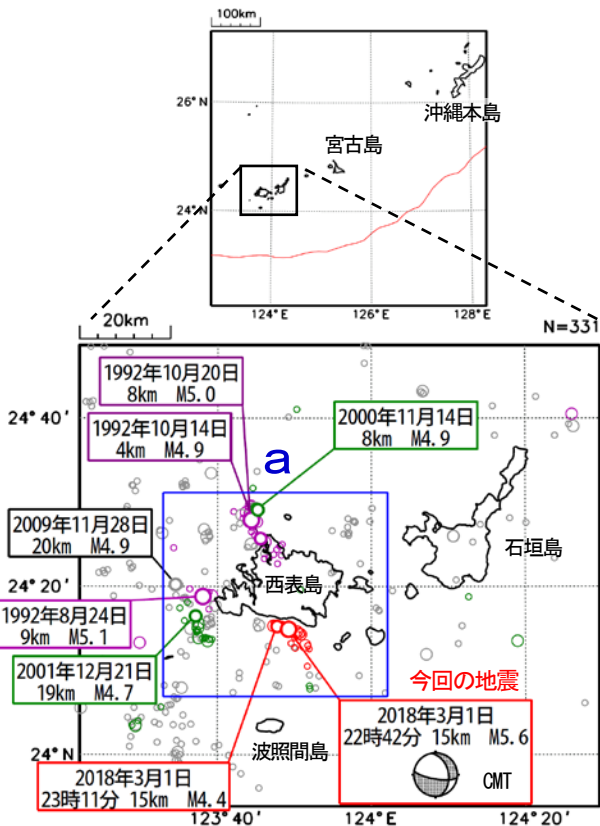


3月1日 西表島付近の地震

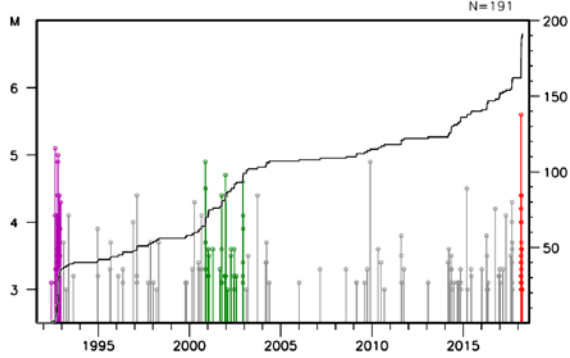
震央分布図

(1992年1月1日～2018年3月31日、
深さ0km～30km、 $M \geq 3.0$)

1992年12月までの地震を紫で、
2000年11月から2003年2月までの地震を緑で
2018年2月28日以降の地震を赤で表示

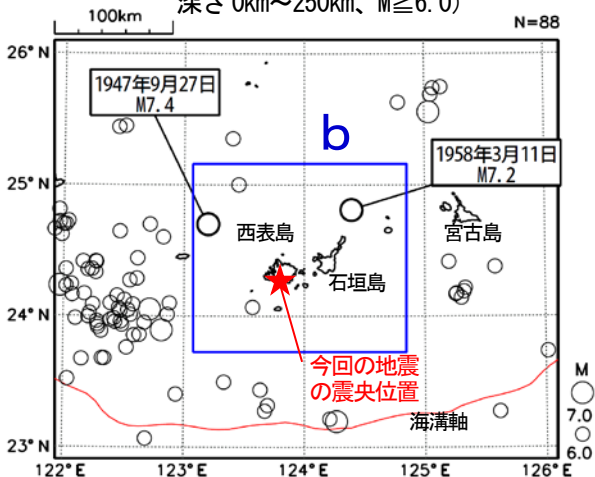


領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

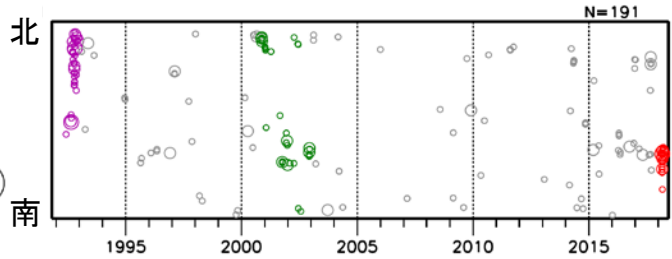
(1923年1月1日～2018年3月31日、
深さ0km～250km、 $M \geq 6.0$)



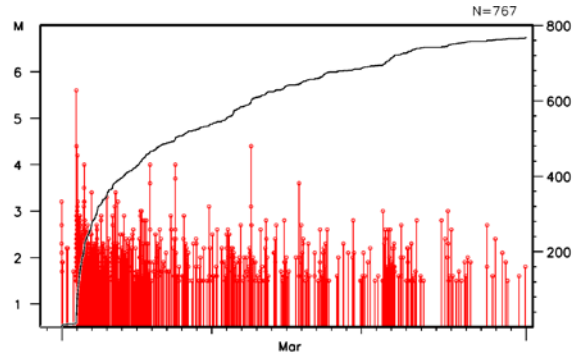
2018年3月1日22時42分に西表島付近の深さ15kmでM5.6の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT解) は、北東-南西方向に張力軸を持つ型であった。この地震の発生後、地震活動が活発な状態で推移しており、3月31日までに震度1以上を観測する地震が、40回 (最大震度3 : 3回、最大震度2 : 8回、最大震度1 : 29回) 発生している。なお、2月28日23時16分にもほぼ同じ場所でM3.2の地震 (最大震度1) が発生している。

1992年1月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺 (領域 a) では、M5程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。そのうち1992年の活動では、壁の亀裂、石垣の崩落等の被害が発生している (「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)

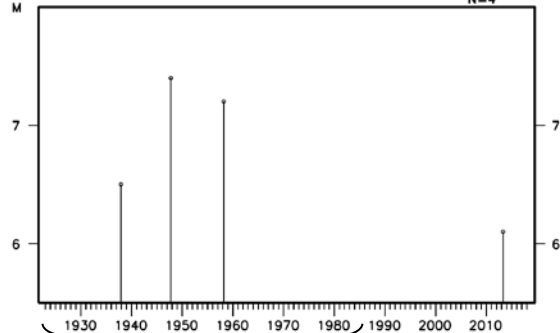


領域 a 内の M-T 図及び回数積算図 (2018年2月28日～3月31日、 $M \geq 1.5$)



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、1947年9月27日にM7.4の地震 (最大震度5) が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)